

【学校の経営】

1. 基本方針

日本国憲法及び教育基本法をはじめとする教育諸法令等に則り、人権尊重の精神を基本とし、知（「確かな学力」）・徳（「豊かな人間性」）・体（「健康・体力」）の調和のとれた「生きる力」を育み、子どもたちの未来への可能性を最大限に伸ばす学校教育の充実を図る。

2. 教育目標(めざす子ども像)

(1) 枚方市教育目標

学びあい、つながりあい、一人一人の未来をひらく
～自立、協働、創造に向けた主体的な学びを支援、可能性を最大限に伸ばす～

(2) 楠葉中学校区小中一貫教育（めざす子ども像）

「自立」 「挑戦」 「思いやり」

(3) 樟葉小学校教育目標

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
～自立する力と持続可能な社会を想像し創造する力の育成～

【 めざす子ども像 】

➤ よく考える子ども

学ぶことに興味・関心をもち、基礎的・基本的な知識・技能を習得するとともに、自らよく考え、探究しようとする意欲をもち、想像する力と創造する力を磨く

➤ 思いやりのある子ども

人権尊重の精神を基盤とし、自尊意識（自己肯定感、自己有用感等）を高め、持続可能な幸福を追求する行動を支援する

➤ たくましい子ども

自他の生命を大切にし、持続可能な社会の作り手となる夢に向かって、難しいことにも挑戦しようとする意欲や自立する力の育成

【 めざす学校像 】

誰一人取り残すことなく、一人一人が生き生きと学ぶことができる学校
～課題解決に向けて常に改善を図り、子ども一人一人に未来への可能性を最大限に伸ばす学校～

- * 集団の中で一人一人を尊重し、互いのちがいを認め合い、互いを大切にする態度を育む取組を推進する。
- * ユニバーサルデザイン等の基礎的環境整備のもと、すべての子どもが「わかる嬉しさ」「できる喜び」が実感できる『授業づくり』並びに、すべての子どもたちの自尊意識（自己肯定感、自己有用感等）を高める『集団づくり』を推進し、『ともに学び、ともに育つ』教育について共通理解し、一層の充実を図る。

【 めざす教職員像 】

『凡事徹底』・・・「当たり前」の事を「徹底的」にやること。やりきること。やり続けること。

- * 一人一人の子どもを大切にし、子どもに向き合い、寄り添う教職員
- * 心身ともに健康で、使命感を持ち、常に伸びようと自己研鑽に努める教職員
- * 「和」を大切にし、協働意欲があり、心配りのできる教職員
- * 節度ある態度と良識をもち、地域や家庭、子どもから信頼される教職員
- * 「チーム学校」の一員である教職員

3. 本年度の重点目標

1. いじめ対応・不登校支援の徹底

(枚方市教育振興基本計画：基本方策7：学びのセーフティネットの構築)

いじめは重大な人権問題である認識のもと、教職員間でいじめ認知を高め、いじめ防止対策推進法に則り、誠実かつ丁寧に組織的対応を行う。

不登校の兆しを捉え、不登校になる前に組織的な対応やSC等の専門家と連携をし、別室登校や時間外登校等の対応を行い、不登校を未然に防ぐことに力を尽くすとともに、不登校になった際には、学校の見立てやSC等の専門家による適切なアセスメントのもと、個々の状況に応じ、学校とのつながりを重視することや関係機関との連携などによる学校復帰以外の選択肢を認める等の手立てを行い、一人一人に社会の居場所ができるようチーム学校として取り組む。

2. 支援教育の充実

(枚方市教育振興基本計画：基本方策4：「ともに学び、ともに育つ」教育の充実)

「ともに学びともに育つ」ことの観点から、児童個々の教育的ニーズを捉え、授業の仕方、教育課程や学び方を定期的に検討し、その可能性を十分に引き出す効果的な指導・支援を行う。また、生徒指導上の課題においても、支援教育の視点を入れ、生徒支援の観点で児童の対応や指導を行う。

通常の学級において、積極的にユニバーサルデザインによる学級経営や授業づくりに取り組む。

3. 持続可能な学力の獲得

(枚方市教育振興基本計画：基本方策1：確かな学力と自立を育む教育の充実)

学習指導要領の趣旨を踏まえ、求められる資質・能力の育成に向けて、ICTを効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進すると同時に、カリキュラム・マネジメントの充実を図る。

また、教育活動全体を通じて、児童が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、目標をもち、自らから考えながら、自己実現を図っていくとともに、将来社会人として自立し、よりよい社会を創っていくことができるよう問題解決型学習を取り入れた教育を推進する。

4. 業務改善

(枚方市教育振興基本計画：基本方策3：教職員の資質と指導力の向上)

教職員の心身の健康を守るためだけでなく、教職員の質の向上や子どもたちへのより良い教育環境整備においても重要である。業務の精選やICT環境を活用する等質の高い教育をめざす。教職員が働きがいを感じ、誇りを持って生き生きと教壇に立つことは、学校教育の水準の維持・向上に資するため、全ての教職員に勤務時間を意識した働き方が浸透するよう、教職員一人一人の意識改革を図る。

5. 「家庭・地域とともにある学校」づくりの推進

(枚方市教育振興基本計画：基本方策6：社会に開かれた学校づくりの推進)

学校教育目標を実現するために、学校及び家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域全体で教育に取り組む体制づくりに努める。

保護者、地域への積極的な情報発信を行うとともに、より一層の連携・協働の充実を図る。

自然災害・不審者の侵入学校等や学校事故・交通事故に対し、安全教育の一層の徹底と保護者や地域の関係団体等の協力を得て、地域と一体になった安全・安心確保の取組を推進する。

管理に当たる。